

砂浜は未来に残せるのか？

～糸島半島の美しき砂浜の現状と課題～



今、日本から海岸が消えています。「海岸浸食」といわれるこの現象は、美しい海岸の風景が消え去るだけでなく、海から寄せる波のエネルギーを吸収できずに津波の被害が拡大する可能性も秘めています。

今回のエクスカーションは、糸島半島を彩る美しい砂浜を探訪しながら、自然の循環や防災を考える旅にいたします。

日時

令和 **7** (2025) 年 **3** 月 **22** 日 (土)

9:00集合 17:00解散(予定)

- 探訪先** 糸島半島一虹の松原
集合場所 九大学研都市駅前 (JR筑肥線)
対象 土木学会員、一般 (中学生以上)
資料代 1,000円 (昼食は別途)
定員 20名程度

※海岸を歩くので、動きやすい服装でご参加ください。
※アレルギーなどをお持ちの方は事前にお申し出ください。
※飲み物等はお持ちください。



浸食された砂浜。このような地形が各地で広がっています。

このプログラムは、土木学会西部支部が主催する一般向けのプログラムです。

お問い合わせ

土木学会西部支部講演講習部会 担当主査 清野 聡子 E-mail : ecoevent@civil.kyushu-u.ac.jp

主催 土木学会西部支部

〒810-0041 福岡市中央区大名 2-4-12 CTI ビル 1F

<http://www.jsce.or.jp/branch/seibu/>

お申込みURL



「QRコード」は株式会社デンソーウェーブ様の登録商標です。